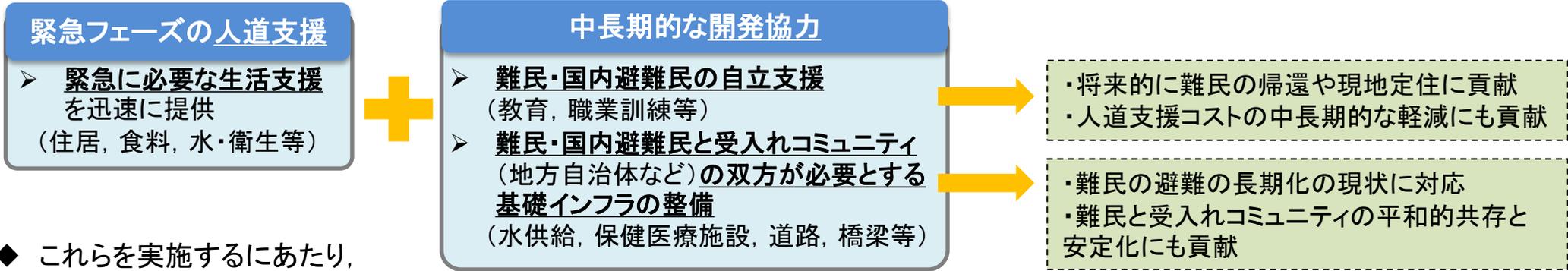


# 人道と開発の連携 (Humanitarian-Development Nexus)

- ◆ 難民・国内避難民は増加の一途であり、人道危機は長期化および深刻化。世界の紛争は長期化する傾向。  
→ 人道危機発生の初期段階から、緊急に必要な人道支援と共に、中長期的な視点の下に自立を後押しする「開発協力」を連携させて実施し、危機の根本原因に対処する、という考え方。  
(国連等でもその重要性は古くから主張され、近年では、人道関係の会合で頻繁に言及される他、国連開発システム改革でも連携強化が計られている)



- ◆ これらを実施するにあたり,
  - ✓ 人道支援及び開発協力の知見を有する国際機関等との連携が不可欠
  - ✓ 我が国の二国間の開発協力についての経験と能力も積極的に活用

## ウガンダ(南スーダン難民)の事例

- 2016年7月以降, 南スーダン(特に南部)の一部で治安が不安定な状態  
→ 大量の南スーダン難民が周辺国に流出(ウガンダが最も多く受入れ(103万人))。
- ウガンダは, 難民に土地を分け与える等寛容な政策。  
⇔ 急激な難民の流入により, 難民の受入れが限界に。

稲作研修を受けた難民の農家

